



## 支援への感謝を胸に 生まれた絆を深め続ける

玉津みかん生産者  
中島 利昌 さん

J A えひめ南が設立したみかんボランティアセンターの玉津支部長を務め、ボランティアの受け入れ態勢作りに力を注いでいます。



香川大学での講義の様子



学生たちとも関わり続けています

吉田町玉津地区は、平成30年7月豪雨により大きな被害を受けた場所のひとつです。中島さんは、約50aの園地が流れ、自宅が床上浸水するなどの被害を受けました。そのような中、中島さんをはじめとする地域の人を助けたいと、全国からたくさんの方のボランティアが支援に駆けつけました。しかし、多くのボランティアを受け入れるためには、宿泊場所の確保が課題でした。中島さんは、平成28年熊本地震の時、受け入れ態勢が整っておらず支援に行けなかった悔しい経験から、その大切さを感じていました。そこで中島

さんは、受け入れてくれる農家と協力してマンションを借りることにしました。そうして受け入れ態勢を整えることができ、これまでに2,700人以上が利用してきました。この時にできた繋がりは、復興が進んできた今でも続いています。特に香川大学とは、中島さんが講師として授業を行うなど絆を深めています。中島さんは「これまで多くの人に助けてもらったから、これからは感謝を伝えていきたい」と決意を新たにこれからも歩み続けます。